

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム やまぼうし桜台

作成日： 令和6年2月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | コロナなどの感染症が蔓延することを恐れ、他者との交流を制限する傾向にあったが、今後は利用者の家族等との交流を再開しつつ、外出する頻度も増やしていきたい。 | 短時間でも良いので、利用者全員の家族と対面での面会を行う。 | 岩手県内のインフルエンザの流行が終息したら、各利用者の家族へ面会の再開を書面でお知らせする。桜が咲く時期も近いので、花見の計画を作成しながら、家族の問い合わせについて柔軟に対応していく。 | 6 か月 |
| 2 | 20 | ようやく家族との面会を再開しているが、利用者も家族もまだ十分な時間を過ごせていない。 | 家族とは面会だけでなく、一緒に外出していただく機会を設け、家族との絆を深めてもらう。 | 施設としての受け入れ態勢を明確にし、家族に面会や外出についての予定を伺っていく。 | 6 か月 |
| 3 | 2 | 地域住民だけでなく、地元の幼稚園、小学校、中学校との交流が減ってきている。 | 地元の幼稚園、小学校、中学校、ボランティア等とのつながりを再開する。 | 幼稚園に対しては、これまで行ってきた遊戯等の披露の場として復活させてもらう。 小学校に対しては、周辺散策等の課外授業で、施設周辺もコースに入れてもらい、通った際には入居者の方々と交流の機会を設けてもらう。 中学校へは、長らく中止していた職場体験を復活させて交流のきっかけを作り、運動会への来賓参加や文化祭等の行事の時に、入居者の方々と訪問させてもらうなど、積極的hに動いていく。 ボランティア等の受け入れも再開し、地域住民とも交流を再開していく。 | 6 か月 |